

シリーズ ⑦⑦ ふるさと 笠間に生きる人たち

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。

～「まちづくり市民活動助成事業」を実施する団体編～



会員のみなさん



代表者(金澤大介さん)より

私たち「いばらきの魅力を伝える会」は、笠間在住のメンバーが中心となって設立した団体です。

設立当初は、都内や人が集まる場所で物産展を行う事ばかりを考えていましたが、段々とその方向性が変わってきました。

会員同士の交流が相乗効果を生み出し、会員の方をはじめ、賛同される方々を交えて、それぞれが独自に茨城の魅力を発信するようになりました。例えば器を販売する会員の方の店舗で地元の食品とコラボした商品を販売したり、飲食を扱う会員の方の店舗で地元業者との新商品を開発したり、笠間の大きな飲食のイベントに会員の皆さんと一緒に参加して助け合ったり、嬉しい事がたくさんありました。もちろん、会としてもイベントや映画制作などの各種事業の主催や協力などを行っています。

今後も地元を誇りに思い、茨城の、笠間の、魅力を伝える事を目標に活動を続けて行きたいと思えます。

東京の百貨店などで、茨城県の誇る食品や工芸品の展示会、物産展などを行い、また県内でも水戸ホーリーホックの試合と連携して風評被害対策ライブイベントなどを行ってきました。

最近では、笠間の魅力再確認事業として在来種の自ら育てた大豆を使って豆腐を作り、それを自ら製作した笠間焼の器で食べようという「カサマメ☆プロジェクト」を企画し、取り組んでいます。

また、映画「桜田門外の変」の方々と協力して活動する映像制作事業では、地元の偉人の紹介として、板谷波山(いたやばざん)没後50年記念事業、映画「波山をたどる旅」の制作と上映を行います。

他にも映像事業としては改築される稲田駅(明治31年設立)と福原駅(大正12年設立)の工事前の姿を記録映像として残す事業なども行っています。

私たちは食、観光、歴史、人物などをテーマに、茨城の魅力発信を行っていくためにさまざまな事業(イベント)を行う団体です。

NPO法人
いばらきの魅力を伝える会

代表者 / かなざわ だいすけ 金澤 大介(水戸市)
設立 / 平成24年
会員 / 20名



映像制作事業に関する新聞記事
映画「波山をたどる旅」



カサマメ☆プロジェクト開始



8月の種まき風景
「こだわりの茨城在来種!!」



ご当地アイドル「しもんchu♪」
と力を合わせて復興支援